

九月も半ば頃になり、遅い夏休みをとることになった。七月八月の暑い夏の間は、なぜか病院は大変忙しく、少し暇になる九月になってから夏休みをとることになってしまうのである。病院で働く私にとっては仕方のないことなのである。

年老いた母も居なくなり、しばらくの間家を空けることが出来ることから、妻と子供たち五人で旅行することとなった。

目的地は沖縄からはるか離れた、石垣島と西表島の間にある、小浜島という小さな島である。大きな島であちこち観光するよりは、小さな島でゆっくりとしたいという私の希望から、子供が選んだ島である。二時間半の飛行機と三十分の船旅で、ハイムルグシ(小浜島の方言で南十字星という意味)という宿に着いた。飛行機から見る青く透きとおった海と珊瑚礁、船から見るきれいな水とひらひら泳ぐ魚たちに興奮しながら。

翌日、海でのシュノーケリングを终日楽しむために、小さな船に乗って海に出たのである。乗員は船頭を含んで八人。天気は最高。案内人は真っ黒に日焼けした、ハンサムで元気な若者である。

日本の最南端に近い、ある小さな無人島に案内してくれた。浜には打ち上げられたきれいな貝殻や珊瑚の残骸が所狭しと転がっている。島で食事をしながら、このきれいな珊瑚の海がいつまでも残っていてほしいものであると、若者に話しかけた。すると若者は答えるのである。この珊瑚がいつまでも元気に育っているためには、海水の温度があまり高くないことである。

地球の温暖化がこのまま進めば、五十年後にはこの地方の珊瑚は死滅するはずである。

一方、時々この地方を襲う台風によって、深い海の下の冷たい水が、八重山諸島の周りに運ばれ、水温を高くしないようにすることも、大変大切なことであると聞かされた。

私たちが訪れると寄ってくる魚と珊瑚、十数メートル下まで見えるきれいな水。珊瑚で作られた白い浜の砂。このすばらしい自然の宝が、台風という、人にとっては厄介な事象で守られており、一方では、人間が作り出す温暖化によって、今滅びようとしている。

遠く来た海で、自然の大きな力と、今問題になっている温暖化の恐ろしさを知らされたのである。青く美しい地球、私たちは皆自然を大切に、次世代の子孫のためにも、この地球を大切にしたいものである。(山下病院 院長)

Table with 2 columns: 8月有償活動, 在宅活動件数, 活動人数, 活動時間, ミニデイサービス利用者, 移送サービス利用件数

Table with 2 columns: 8月介護保険訪問活動, 訪問件数, 家事, 複合型, 身体, 合計

Table with 2 columns: 8月会員登録状況, 協力会員, 利用会員, 賛助会員, 計

11月の定例会は 11月3日(日)事務所 9時30分~12時30分 ◆定例会 9時30分~10時30分 ◆ケア検討会 10時30分~12時30分

お知らせ

平成14年度住民参加型 在宅福祉サービス団体セミナー開催

- ◇日時・平成14年10月21日(月)午前10時30分~午後4時
◇会場・愛知県社会福祉協議会3階
◇内容・午前 地域における障害者への生活支援活動について~現場からの報告~
午後 支援費制度の概要について(行政説明)
◇主催・愛知県社会福祉協議会
◇参加費・500円



第14回 みんなと一緒に 福祉とボランティア活動展

- ◇日時・平成14年10月19日(土)午後1時~午後4時
20日(日)午前10時~午後4時
◇ところ・一宮スポーツ文化センター
◇今年も「まごころ」は参加致します。1階で「ふれあい広場」として、高齢者や障害者の皆さんとの交流をふかめたいと思っています。皆さん、ぜひお立ち寄りください!

必要な移送支援・・・様々な利用

障害者の方や体の弱い高齢者の方が、普通に暮らしていくために「まごころ」の移送サービスは様々な方に、様々なご利用の仕方をいただいています。最近では、若い方への支援となりました。で、毎朝自宅から学校までお送りさせていただきます。必要なら、朝早い通学へのお手伝いも可能になりました。



ご案内

2002世界アルツハイマーデー 記念シンポジウム(1)

日時・平成14年10月14日(月)13:00~15:30
会場・名古屋国際会議場センチュリーホール
内容・もの忘れフォーラム ~痴呆症の正しい理解~
講演講師:井形昭弘氏 他
主催・朝日新聞社
申込・FAX03-5972-6634
問い合わせ・記念シンポジウム事務局 ☎03-5726-2491

2002世界アルツハイマーデー 記念シンポジウム(2)

日時・平成14年10月14日(月)14:15~16:30
会場・名古屋国際会議場レセプションホール
内容・痴呆の地域連携セミナー 痴呆対策を目的にしたヘルスプロモーション活動
講演講師:山口淳一氏(駐米労働者)他
主催・朝日新聞社
申込・FAX03-5726-2492
問い合わせ・記念シンポジウム事務局 ☎03-5726-2492

第4回 東海老人性痴呆疾患研究会 講演とシンポジウム

日時・平成14年10月26日(土)14:00~17:00
会場・一宮地場産業ファッションデザインセンター
内容 ◆特別講演 「老人性痴呆疾患センターの役割」一宮市民病院今伊勢分院での現状
講師:一宮市民病院今伊勢分院 精神科医長 橋本直季先生
◆シンポジウム 「今、痴呆の介護現場に求められているもの」
シンポジスト
患者の立場から・「忘れても幸せ」作者 小菅もと子氏
医療看護から・今伊勢病院痴呆病棟棟長 田中勢智代氏
地域の活動から・師勝保健センター保健師 日榮和歌子氏
グループホームの在り方と立場から
今井あまきの家 代表 村田 恵子氏
主催・医療法人杏嶺会 上林記念病院・一宮西病院